

戦評用紙

令和元年度 関東高等学校バスケットボール埼玉県予選会

令和元年/5/17

会場 越谷市立総合体育館 コート 第2試合
性別 男 準々決勝

対戦カード	白岡高校	26	—	11	越谷西高校
TOTAL	92	24	—	21	75
		24	—	22	
		18	—	21	

お互いにシード校を倒して公立高校同士の対戦となった。

白岡高校は6・7・8・11・16、越谷西高校は4・5・6・7・10で試合が始まる。出だしでペースを掴んだのは白岡高校だった。8の身体能力の高い1対1やリバウンドショットで得点を重ねる。お互いに得点後は2-2-1のゾーンプレスからマンツーマンディフェンスで相手の足を止めるディフェンスをした。得点力が上回る白岡高校が越谷西高校のディフェンスを攻略し、得点を重ねながらディフェンスでもペースを掴む。対する越谷西高校は10のバスケットカウント1スローを獲得し、白岡高校に食らいつく。しかし白岡高校の寄りの早いディフェンスの前にリズムよくシュートが打てずリバウンドを取られて白岡高校が早いオフェンスで得点を重ねていった。途中越谷西高校はハーフマンツーマンディフェンスに変えるが自分たちのミスも続き得点差が開いていった。しかし第2Qで白岡高校の7が3つ目のファールをしてしまい、交代してから流れが少しづつ変わるが50対32で白岡高校がリードして前半を終えた。

後半もお互い得点後は2-2-1のゾーンプレスディフェンスを仕掛けた。後半立ち上がりはお互いにミスが続き、一進一退の攻防が続く。前半同様、白岡高校は7が連続得点し、引き離しにかかる。また10がバスケットカウント1スローを獲得し後半も白岡高校がペースを掴んだ。第3Q残り4分から越谷西高校は5のジャンプシュートが決まり、ディフェンスを3-2のゾーンに変えた。4の3Pも決まり次第に越谷西高校のペースになった。第3Q残り1分で得点が70対54になったところで白岡高校はスタートメンバーに戻した。その後越谷西高校のボール運びのミスもあり、74対54で最終Qを迎える。今までなかなか入らなかった越谷西高校のシュートが決まり始め、最終Qはお互い得点の取り合いになる。白岡高校のボール運びやオフェンスでのミスが続き、TOを請求する。越谷西高校は10の3Pが決まり、残り5分で76対64になった。越谷西高校はオフェンスリバウンドを取り、セカンドチャンスをもものにしていった。しかし、苦しい場面で白岡高校は8番が要所でシュートを連続で決め、主導権を握らせなかった。このまま白岡高校がリードし続け、92対75で勝利した。久しぶりに白岡高校が関東大会出場を決めた。

白岡高校OBの金谷先生おめでとうございます！！

(記録者: 滑川総合高校 細川)